

おおたの教育

今号の主な内容

第115号

大田区教育委員会広報

平成25年（2013年）
4月1日発行

- 1面 委員長所信表明
- 2面 平成25年度教育予算のあらまし
- 3面 平成24年度教育実践功労者表彰
- 4面 特別支援学級の新設

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL.03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

学校・家庭・地域・行政が協力し 充実した未来を育むために

大田区教育委員会



教育委員長
横川 敏男

滋賀県大津市の「いじめ」の事件を受け、平成24年7月に東京都教育委員会によりいじめの緊急調査が行われ、大田区においても、軽度のものから重大なものまで小・中学校合わせて232件の認知件数がありました。この結果を受け、いじめの実態把握に努め、いじめが認められた場合には、学校と家庭とが十分に連携して双方の児童・生徒の学校内外の生活を見守る体制をとり、問題解決に取り組んでまいりました。その結果、早期の段階で大半は解決に至っています。

学校、保護者、教育委員会が連携して児童・生徒をしっかりと見守り、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、今後とも取り組んでまいります。

「おおた教育振興プラン」では、達成すべき指標を明確にして教育活動の充実を図っております。平成24年度は、大田区学習効果測定における中学校3年生「数学」の期待正答率を超えた生徒の割合、全国学力・学習状況調査で「自分にはよい所がある」と回答した小学校6年生児童の割合、中学校不登校生徒の出現率など、すでに学校教育の分野では成果指標を達成し、着実に成果を上げています。

平成25年度も教育目標に定める「子どもたちが学ぶ喜びを知り、社会生活を営むに必要な基礎学力を習得し、豊かな情操と公共の精神を養い、健やかな身体を育むことができる」教育を目指して、「おおた教育振興プラン」の6つのアクションプランに基づき各種の施策を着実に遂行してまいります。

昨年は、「スポーツ推進計画の策定」、「大田区総合体育館の落成とオープン」、「スポーツ健康都市宣言」と、大田区にとってのスポーツ推進元年の年となりました。

本年は東京において、第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会が「スポーツ祭東京2013」として開催され、大田区では、「カヌースプリント競技」が行われます。身近で最高レベルの競技を見ることができるとともに、区をPRする絶好の機会としてとらえています。

また、昨年12月には寒風の吹きすさぶ中「小学生駅伝大会」が開催され、出場選手、応援する児童、教員、保護者が一体となって臨んでいました。大田区は、箱根駅伝のコースでもあるなど、駅伝に縁のある区です。大田区を東京の駅伝のメッカにできれば素晴らしいと思います。

本年も区民のスポーツを通しての健康で豊かな生活を目指し、さまざまな事業を実施してまいります。

昨年、版画家「川瀬巴水コレクション」735点の作品・資料などを寄贈いただきました。平成25年は、川瀬巴水生誕130年の年にあたることから、平成25年度予算に記念の特別展を開催するための経費を計上しました。

巴水自らが、「馬込生活が一番面白い時代でもあった」と述べているように、巴水にとって馬込の地は精力的な活動をされていた場所です。大田区ゆかりの作品を多くの皆様にご覧いただくことにより、地域の賑わいの創出に寄与できると考えております。

平成21年度より区立小・中学校に設置を進めてまいりました学校支援地域本部は、平成25年度には全ての区立学校への設置を予定しております。

全校設置に伴い、学校支援地域本部同士のネットワークの構築、地域資源の情報の共有化など、今後はその活用を検討してまいります。

教育施策を効果的に展開するために、学校、教育委員会とともに、区

民一人ひとりが子どもたちの健全な成長にとって、解決すべき問題に対し主体的に取り組んでいただきたいと思います。学校、家庭、地域、行政の協力関係が、これまで以上に深まり、それぞれの役割のもと、その力を十分に発揮していただき、大田区の子どもの充実した未来を育むことにつなげていきたいと考えます。

教育委員会は、子どもたちの意欲を育み、意欲を支え、そして、豊かな人間性を育むことができる教育を目指して、これからも全力で取り組んでまいります。

（平成25年第1回大田区議会定例会 教育委員会委員長所信表明要旨）



▲議場における委員長所信表明

「科学大好きな子ども」の育成

大田区は日本有数のものづくりのまちであり、匠の技をもっている技術者が多く存在します。現在、このような優れた技術を継承していくことが課題であり、将来、ものづくりを担うことができる人材を育成することが必要となっています。そのためには、子どもの時に科学への興味や関心をもたせることが大切です。

教育委員会では、平成23年度から清水窪小学校を「おおたサイエンススクール」として指定し、実践的な教育研究に取り組み、コミュニケーションを通して子どもたち一人ひとりの気付きを確かな理解に導く生活科や理科、総合的な学習の時間の授業づくりを目指した協議を重ねてきました。また、付近には東京工業大学があるという立地条件を生かして、大学教授等を招いた特別授業や大学施設での体験学習、留学生との交流活動を行ってきました。さらに、区立小学



▲大森第六中学校の理科の先生を招いた「金属の性質」の授業

校教員を対象にした理科の授業力の向上を目指した研修会の会場校としても清水窪小学校を活用するなど、大田区の理科教育の拠点校として、「科学大好きな子ども」の育成に取り組んできました。

平成25年度から清水窪小学校は、文部科学省から教育課程特例校の認定を受けることになり、全学年で週1時間「サイエンス・コミュニケーション科」の授業を行います。子どもたちはこれまでの生活経験や生活科、理科などの学習で得た知識をもとに、その性質を使った道具やおもちゃの製作、科学史、科学の発展に寄与した偉人などについての調べ学習、ICTを活用した発表活動などを行い、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を科学を通して身に付けていきます。

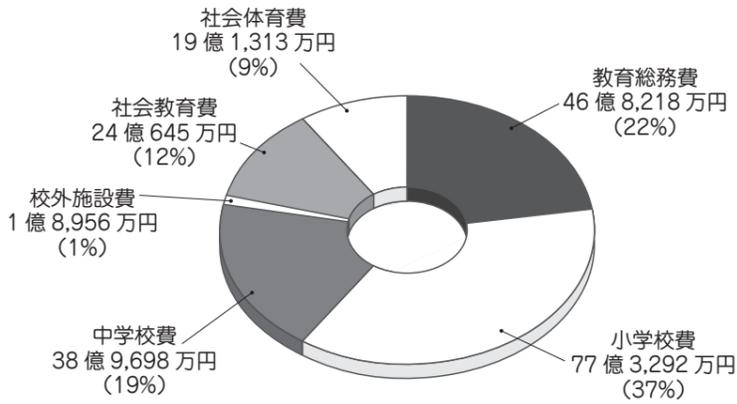
問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



▲東京工業大学での授業

平成25年度 教育予算のあらまし

平成25年度教育予算額208億2,122万円



平成25年度の教育関係の予算は、前年比2.5%減の208億2,122万円です。区一般会計予算に占める割合は、前年度より0.4%減の9.0%となりました。

教育委員会では、「おおた未来プラン10年」や「おおた教育振興プラン」に基づき、区の教育目標を実現するため、本年度も施策・事業に着実に取り組んでいきます。

～学校教育の充実～



★基礎学力の定着 1億1,381万円
習熟度別指導及び補習を目的とした学習指導は一定の学力定着・向上の成果が学習効果測定で確認されています。引き続き、非常勤講師を学習指導講師として配置し、学力定着・向上を図ります。

○サイエンス・コミュニケーション科を新設 90万円
おおたサイエンススクール(清水窪小学校)において、サイエンス・コミュニケーション科を新設し、理科教育の充実を図るとともに科学大好きな子どもを増やします。

★外国人、帰国児童・生徒日本語特別指導 2,987万円
日本語指導を必要とする海外からの帰国児童・生徒に対応するための事業です。震災の影響と思われる一時的な利用者減がりましたが、現在は平成23年度の登録者数近くまで戻りつつあります。

★学校運営システムの運用管理 3億663万円
教育委員会、小中学校、教育センター等を結ぶ学校運営システムを良好な状態で使用できるよう運用管理を実施します。本年度からは、全小中学校での成績機能の活用のほか保健機能、文書機能も新たに活用を開始します。

★学校支援地域本部事業 3,523万円
地域が「学校の応援団」として学校教育活動に関わり、「家庭・学校・地域」が一体となって学校教育を支える、地域が主体となった組織の活動を支援します。本年度中には全ての小・中学校(87校)への設置を予定しています。

○総合的な学習の時間等 1,514万円
武道指導の充実など、日本の文化・伝統を尊重する教育の充実を図ります。

～社会教育・スポーツの推進～

★家庭教育学習会 51万円
小学校新1年生の保護者を対象に「親の学びの場」として家庭教育学習会を開催します。子どもの成長や学校生活に対する保護者の不安等を軽減し、子どもたちの学校生活がより充実したものとなることをめざします。

○スポーツ祭東京2013の開催 2億1,131万円
「スポーツ祭東京2013」は、東京都で開催する第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会の総称です。大田区では、次の競技を実施します。



スポーツ祭東京2013「ゆりーと」

- 正式競技 カヌースプリント
【日程】平成25年10月4日～7日
【会場】京浜南運河特設カヌー競技場(京浜島つばさ公園前水路)
- デモンストレーションとしてのスポーツ行事
(1)ハング・パラグライディング
平成25年9月7日(多摩川緑地区民広場)
(2)ゲートボール
平成25年9月15日(大田スタジアム)
(3)ドッジボール
平成25年9月16日(大田区総合体育館)
(4)ユニバーサル駅伝
平成25年9月29日(大田スタジアム)

★六郷図書館の改築 2,150万円
図書館の老朽化に対応するため、併設の六郷保育園とともに改築計画を進めています。本年度は基本設計と実施設計を行います。



▲川瀬巴水画「池上本門寺」

○特別展「版画家 川瀬巴水～生誕130年記念～」(仮題) 973万円

郷土博物館において大田区にゆかりのある版画家「川瀬巴水」の作品を展示します。

巴水の作品を広く公開することで、区民が地域に関心と誇りを持つきっかけづくりをします。

また、国内はもとより海外にも多くのコレクターがいる巴水の作品を展示することで、観光資源としての活用も図ります。

～教育施設の整備～

★嶺町小学校の改築 2億8,631万円
児童数の増加や校舎の老朽化に対応するため、校舎の改築を行います。(平成27年3月しゅん工予定)本年度は、既存校舎解体、体育館棟建設工事(Ⅱ期工事)を行います。

★東六郷小学校の改築 1億134万円
校舎の老朽化に対応するため、校舎の改築計画を進めています。本年度は基本設計と実施設計を完了し、既存体育館の解体を行います。

★志茂田小学校・志茂田中学校の改築 1億3,143万円
校舎の老朽化に対応するため、校舎の改築計画を進めています。本年度は基本設計と実施設計を行います。隣接した小・中学校を同時に改築することにより経費の削減を図ります。

★多摩川小学校校庭の芝生化 1億776万円
広い敷地を有する学校の校庭を活用し芝生化することで、ヒートアイランド対策とともに児童の学習環境を整備し、環境教育の充実を図ります。

事業名の前に★印が表記されているものは、「おおた未来プラン10年」「おおた教育振興プラン」に掲げる計画事業です。

問合せ先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

平成24年度大田区教育委員会

「教育実践功労者」表彰

～受賞者の紹介～

教育委員会では、区の教育の発展に貢献しその功績が顕著で優れた教育実践を行った教員を、「教育実践功労者」としてその功績をたたえ毎年表彰しており、平成24年度は、10名の方が受賞されました。

今後大田区の教育のためにご尽力いただき、子どもたちの健やかな成長を支えていただきたいと思います。

受賞者のコメント・表彰理由は以下のとおりです。



●受賞者の方々●

後列左から 柴崎主幹教諭 石坂主任養護教諭 堀江主任教諭 大槻主任教諭 前列左から 吉田主幹教諭 伊藤主任教諭 吉沼主幹教諭 佐藤主任教諭 大森主任教諭 (志田主幹教諭(上方写真)は公務のため授賞式は欠席されました。)

吉田 義明 主幹教諭 (入新井第五小学校)

よき子ども、よき同僚、よき先輩、よき保護者に教えられました。わたしのまわりは、みんな先生です。感謝しています。

長年の教育実践に基づく優れた指導力による「わかりやすい授業」を実践し、その指導方法は、他の教員の模範となっています。また、常に児童に寄り添い、深い愛情をもって指導にあたることで学級や児童の課題改善に多大に貢献されました。

伊藤 比佐代 主任教諭 (入新井第一小学校)

特別なことをしてきたわけではありません。これからも、子どもたちに俳句をつくることを通して、四季のある日本の言葉の美しさを伝えたいと考えています。

学年全体での俳句・短歌の創作活動を実施し、児童の創作意欲の維持・向上や豊かな心の育成に尽力されました。また、学級・学年経営や生活指導面の立て直しを図りながら若手教員を指導育成するなど、学校経営に多大に貢献されました。

吉沼 美和 主幹教諭 (入新井第四小学校)

六年生全員が管楽器演奏を通じ、充実感や達成感を味わえるように担任と協力してきました。今後も音楽を通して子どもたちと共に成長していきたいと思えます。

音楽科の指導力・授業力の研究に努め、熱意と信念をもった管楽器指導を実践されました。管楽器演奏を通じて学校行事や地域とのふれあいに貢献するとともに、児童自ら考え活動する音楽活動の推進に尽力されました。

佐藤 真澄 主任教諭 (新宿小学校)

都や区の道徳教育の推進と、東京都教師道場や校内における授業公開を通して、若手教員の育成に努めてきました。これからも「心の教育」の実践に精進していきます。

道徳の授業研究において専門性を追求し、授業力の向上に尽力されました。同校のみならず、都全体の授業改善に積極的に取り組み、道徳研究授業の指導・助言、講話を行うなど、道徳教育に大きく貢献されました。

志田 美江子 主幹教諭 (大森第四中学校)

全国的にも類を見ない区ダンス発表会と出会って30年。踊った後の生徒のこぼれる笑顔と発足当時の諸先生方のダンスに対する熱意を絶やさぬよう取り組んできました。

創作ダンス指導の第一人者として、長年にわたり都及び区における創作ダンスの普及と発展に多大に貢献されました。また、率先して生徒理解に努め、学校状況の改善に取り組む姿勢は、他の教員の模範となっています。

大森 薫 主任教諭 (大森第十中学校)

「わかる授業」とは何かを追究していく中で、教職員の和が生まれ、自分自身の視野が広がりました。研究を支えて下さった皆様に深く感謝し、今後も前進していきたいです。

教育研究推進校としての研究成果の定着を図るために、組織的な授業改善に尽力されました。また、国立教育機関の研究に協力し、培われた実践的研究を広く普及するなど、区を越えた全国規模の教育研究に多大に貢献されました。

柴崎 裕子 主幹教諭 (大森第六中学校)

校長のリーダーシップと全教職員のチームワークによって多くの活動を行い、評価を受けたと感じています。この場を借りて、皆様に感謝します。

生徒に夢と希望を与える「課題解決能力」についての研究・実践に尽力されました。また、持続発展教育を推進し、環境教育や地域社会への理解を通じて国際社会で活躍し、貢献することのできる生徒の育成に大きく寄与されています。

石坂 美紀 主任養護教諭 (六郷中学校)

様々な情報を共有できるように工夫し、全教職員と協力しながら、今後も大田区の子どもたちのために尽力したいです。

メンタルヘルスチェックの読み取り分析により生徒個々の状況把握に努め、生徒の様子に対する早期発見・対応ができる体制づくりに貢献されました。また、不登校問題への取り組みに尽力し、不登校生徒の減少に大きく寄与されました。

堀江 滋 主任教諭 (南六郷中学校)

生徒と一緒に過ごす時間が多く、とても楽しい毎日です。今後も、生徒との絆を深めながら、健全育成に尽力していきたいです。

生活指導主任として、学校全体の生活指導力向上を図り、生徒の課題解決に尽力されました。また、男子バレーボールの監督として、熱心な指導により関東屈指のチームへと作り上げ、区・都・関東大会において優れた実績を残しました。

大槻 麻織 主任教諭 (蒲田中学校)

本校全教職員の強力なチームワークと愛情溢れる教育活動無くして、音楽科の成果はあり得ません。皆様にお力添えをいただいたことに改めて感謝申し上げます。

吹奏楽部の顧問として吹奏楽の技術向上や、生徒の健全育成に尽力されました。東京都中学校吹奏楽コンクールにおいて優れた実績を残すだけでなく、地域行事への積極的な参加など、演奏を通じた地域社会への貢献を果されました。

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

持続発展教育への取り組み

～大森第六中学校～

大森第六中学校では、平成24年度大田区教育委員会教育実践功労者の柴崎主幹教諭が中心となって、持続発展教育に取り組んでいます。その取り組みについてご紹介します。



▲大岡山駅前花壇の整備

身近な環境へのかかわり 大森第六中学校 主幹教諭 柴崎 裕子

平成22・23年度大田区教育研究推進校とし研究発表することをきっかけに、ユネスコ・スクールに加盟し、持続発展教育(ESD)を中心とした教育活動を展開しています。

持続発展教育(ESD)の根幹である持続可能な社会の担い手づくりを目指す環境教育は、学習指導要領の「生き方」教育であるという視点に立ち、本校では、環境教育を通じて、問題解決能力、表現力、主体的な行動力、協調性の育成を図り、コミュニケーション能力を身に付けさせることに取り組んでいます。

校庭の落ち葉を利用したミズコンポスト、そこからできた腐葉土で育てたゴーヤグリーンカーテン、学校の隣接地である洗足池公園におけるホテル復活プロジェクト、大岡山北口商店街・大田区調布まちなみ維持課・NPO法人大田・花とみどりのまちづくりと本校農援隊(生徒のボランティア団体)とが協力して行う駅前花壇の整備等、地域を屋根のない学校と捉え活動しています。これらの活動が認められ、東京都教育委員会 環境教育優良賞、コカ・コーラ環境教育賞優秀賞、環境美化教育 農林水産大臣賞、ユネスコ・スクール最優秀賞を受賞することができました。

その結果、学校全体が明るく落ち着いた雰囲気になり、学力も大幅に向上しました。環境教育が生徒の自己肯定感を着実に育んでいます。

土曜日の授業実施について

大田区立学校では、児童・生徒の確かな学力の定着を目指し十分な授業時数を確保するとともに、保護者・地域住民等に開かれた学校づくりを進めるために、平成25年度は年間3回(学期1回・原則第2土曜日)振替をとらない土曜日の授業公開を全校で実施します。(既に、平成24年度に年間4回以上振替をとらない土曜日の授業を実施している学校については、平成24年度と同程度になります。)



問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

特別支援学級を新設します

区では、障がいのある児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、それに対応した適切な指導や支援を行うために、特別支援学級を設置しています。

近年、特別な支援が必要な児童・生徒が増加傾向にあることから、平成25年4月より2校を新設します。特別支援学級は、知的障がいの固定学級(小学校12校、中学校7校)と言語障がい、難聴、弱視、情緒障がい等の通級指導学級(小学校11校、中学校3校)になります。

今後も、一人ひとりの児童・生徒に対して、きめ細かい指導を実施し、安心して学べる環境を整備していきます。

また、就学の相談は、教育センター就学相談(TEL 5748-1202)にて随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

- 新設校 六郷中学校・知的障害学級(固定)
入新井第一小学校・言語障害学級(通級)



問合せ 学務課特別支援教育担当
TEL 5744-1440 FAX 5744-1536

大田区総合体育館で開催される 主な試合や大会のご案内

社会教育課が主管する大田区総合体育館は、「するスポーツ」「みるスポーツ」を基本コンセプトに運営を行っています。

各競技のトップアスリートが繰り広げる試合を区内の身近な会場でお楽しみください。(観戦は、有料になります。)

※予定が変更される場合がありますので、各問合せにてご確認ください。

大田区総合体育館に関する問合せ 社会教育課施設活用担当
TEL 5744-1448

〈第24回世界エアロビック選手権大会〉 -FIG ワールドカップシリーズ東京国際-

日時	内容
4月6日(土) 4月7日(日)	世界各国の代表選手が参加する歴史あるエアロビックの国際大会

問合せ スズキエアロビック事務局
TEL 03-5796-7525

〈bjリーグ(日本プロバスケットボールリーグ)〉

日時	内容
4月20日(土) 4月21日(日)	東京サンレーヴス VS 琉球ゴールデンキングス

問合せ 東京プロバスケットボールクラブ株式会社
TEL 042-444-8634

給食費や学用品購入費の一部を 援助します(就学援助)

対象

小・中学生のお子さんの保護者で、大田区にお住まいの方のうち、下記のいずれかに該当する方。

- ①生活保護を受けている(要保護認定者)
- ②同一生計を営む世帯全員の平成24年中の合計所得が認定基準所得に満たない(準要保護認定者)

《認定基準所得の目安》

世帯人数	2人	3人	4人	5人
認定基準所得	277万円	345万円	378万円	465万円

※あくまでも目安です。家族の年齢構成等によって異なります。

援助内容

- ・認定された場合は、下表の内容が受けられます。ただし、認定区分・学年及び申請月によって費目や支給額は異なります。
- ・要保護認定者(生活保護受給者)については、網掛け部分は生活保護費から支給されるため就学援助での支給はありません。
- ・就学援助は、認定された方に就学援助費を支給するものであり、**給食費や教材費等の学校納付金が免除されるものではありません。**

○給食費(国立・都立・私立学校は除く)	○学用品費
○新入学用品費(4月申請者のみ)	○体育実技費(購入者のみ)
○通学費(特別支援学級(固定)通学者のみ)	
○校外授業費	○移動教室参加費(参加者のみ)
○修学旅行参加費(参加者のみ)	○クラブ活動費(小学校4~6年生のみ)
○卒業アルバム費(購入者のみ)	○医療費(対象疾病のみ)

申請方法

4月上旬に学校から配布する「平成25年度就学援助受給希望調査書(申請書)」を期日までに学校へ提出してください。なお、大田区以外の区市町村立及び国立・都立・私立小中学校に通っている場合は、下記までお問い合わせください。

問合せ 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536

平成24年度

第1回小学生駅伝大会が開催されました



平成24年12月26日(水)、多摩川六郷橋緑地において、第1回小学生駅伝大会が開催されました。区立小学校30校から5・6年生の代表児童約360名参加し、各校の糧をつないで、日頃の体力向上への取組の成果を発表しました。

当日は、厳しい寒さながらも青空が広がり、たくさんの声援に見

守られながら全チームが完走しました。

中学校では、平成21年度から『中学生「東京駅伝」大会』へ参加し成果を積み上げています。この大会により、小中一貫した体力向上をさらに推進していきます。

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

表彰 学年は受賞時のものです。

□スポーツ部門

- 全国中学選抜レスリング選手権大会
35kg級 第3位
大森第十中学校 1年 吉川 諒

□文化部門

- 中学生・高校生のための第9回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト
中学生打楽器部門 金賞
大森第六中学校 3年 鈴木 理伽

教育委員会の主な議題

□平成24年第12回定例会

- 平成24年度 第五次補正予算要求原案について

- 「大田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例」原案の提出について

- 大田区スポーツ推進審議会委員の任命について

- 学校事故に係る損害賠償額の専決処分の報告について

- 交通事故に係る損害賠償額の専決処分の報告について

□平成25年第1回定例会

- 学校事故に係る保険者負担分返還金の専決処分の報告について

□平成25年第2回定例会

- 学校事故に係る損害賠償額の専決処分の報告について

□平成25年第1回臨時会

- 大田区立馬込第二小学校指定校変更不許可決定に係る異議申立てに対する決定について

- 人事案件について

教育委員会定例会の開催予定日

□日程 平成25年4月24日(水)

平成25年5月29日(水)

平成25年6月26日(水)

□時間 午後2時から(平成25年4月24日(水)は午後3時から)

□場所 本庁舎6階教育委員会室

※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。

問合せ 教育総務課庶務係

TEL 5744-1422 FAX 5744-1535